

目標達成計画

作成日:平成26年5月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	水分をなかなか摂取しない利用者が多く、脱水になる恐れがある。	水分をしっかり摂取する事で、毎日を元気に過ごしてもらう。	お茶を食事の後に飲んでもらうのではなく、食事の前に飲んでもらうように声掛けしていく。コップの形や大きさなど、一人一人利用者に合ったものを用意する。	6ヶ月
2	33	利用者の家族が、あまり様子を見ていないことから、その状態を把握できていない。グループホームで看取りを行う上で、家族の思いと介護側の思いに距離がある。	利用者の思いに添った看取りを行えるようにする。家族と介護者側が連携出来るようにする。	根気よく家族と連絡を取り、現状を知ってもらう。	6ヶ月
3	29	地域との交流が出来る利用者が限られている。	健康状態や精神状態に留意し、少しでも多くの利用者が、地域との交流が出来るように支援していく。	施設の夏祭りや地域の秋祭りで、利用者地域の方々との交流の場面を、出来るだけ多く作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。